

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

全国聴覚障害者情報提供施設協議会第2ブロック（北信越）研修会を開く

9月6日（金）12:00～16:00、富山県聴覚障害者センターにて開催されました。ソフト制作担当者研修会は6名、意思疎通支援担当者研修会は4名が参加しました。

ソフト制作担当者研修会は、オン・エア富山の岩嶽義博氏を助言者に迎え、各県センターから持ち寄った自主製作映像作品を鑑賞し、意見交換を行いました。プロカメラマンである岩嶽氏に各県の作品について評価とアドバイスを頂きました。最後に、各県センターのスタジオ機器の更新について話し合われました。最近4Kのビデオカメラが増えており、スタジオの編集機器で対応できるかどうかなど活発に話し合われました。



意思疎通支援担当者研修会は、7月に京都で行われた研修の報告を行い、元全国情報提供協議会意思疎通支援専門委員会委員長の山崎清之氏を助言者に迎え、石川、福井、富山3県の意思疎通支援担当者で情報交換を行いました。それぞれの業務内容を確認し、疑問に思うことや先進的な取り組みについてなど話題は尽きず、時間を超過したため、後ろ髪を引かれる思いで終了しました。担当者同士が実際に顔を合わせることで、広域派遣についてもスムーズな連携ができるように思います。今後も研修を重ね、業務に反映させていきたいと思っています。

電話リレーサービスオペレーター研修に参加しました。



9月9日（月）午前10時より長野県上田市中央公民館にて開催。長野県聴覚障害者協会の登録手話通訳者研修会の一環として行われたもので、富山から電話リレーサービスオペレーター研修として中橋、清水、宮崎の3人が参加しました。テーマは「ろうLGBTQ～あなたの身近に～」、講師はかえで（川端伸哉）さん。かえでさんはろう者ですが、ゲイであるため、LGBTQの理解を広める運動していました。参加者にLGBTQについて理解し、適切に対応してほしいと訴えました。

講演会の後、別の部屋で長野、富山の電話リレーサービスオペレーターで集まり、1年間の業務を振り返り、今後、聴覚障害者が使いやすい電話リレーサービスのあり方を話し合いました。

センター利用の実績 8月21日～9月20日

- 来所者合計約647名
聴障者約266名、健聴者約381名
- コミュニケーション支援 115件
- ライブラリー貸出 1件1本
- 相談対応 6件 ●部屋貸出45件

- ★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会

よろしくお願ひします。